

令和2年度 松田町総合戦略審議会協議事項に対する意見書 対応方針

No.	施策分野	取組名称	資料種別	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
1	協議事項(1)	総合戦略評価	資料1-1	ー	大項目Ⅰ～Ⅳの2次評価については事務局案に賛同いたします。いくつか質問や意見を申し上げますので、ご回答いただければ幸いです。	ご確認、ご賛同いただき、ありがとうございます。 質問等につきましては、順次ご回答させていただきます。	政策推進課
				1～2	(大項目Ⅰ) ・①住まいづくり ②定住支援がいずれも目標に達していないのに、R1年の社会移動数が58人も目標以上に達しているのは何故か? 社会移動した人は民間アパートを借りて入ったということか?	定住支援のKPIの設定方法が、補助金申請件数等を基にしており、申請に基づく人口移動をKPI数値としていないことから、差異が生じています。 また、町が実施している転出者に対するアンケート調査の結果からは、ご指摘の通り、社会移動者のかなりの部分が、集合住宅への入居者であると町では考えております。	定住少子化担当室
				4	(大項目Ⅱ) ・②教育・生涯学習のKPIで、「ICT環境を活用した授業の割合」が毎年減少してきており、R1年度は後半に新型コロナ禍が進んだ時にもICT活用が減っているようで心配だ。本来、休校の時こそICTを活用して欲しいものだ。確かにICTに強い先生とそうでない先生がいるのだと思うが技術の伝承と教育を進めてほしい。	ご意見をいただき、ありがとうございました。 ご意見をいただきました資料4ページの「ICT環境を活用した授業の割合(年間)」の数値について、各学校からの報告の積み上げデータに誤りがありました。申し訳ございませんが、次のとおり資料を訂正くださるようお願いいたします。R1年度「実績値49」→「実績値76」。「達成率61.3%」→「達成率95.0%」。(この修正に伴い「1次評価」の内容も若干修正) ご意見をいただきました「ICT環境を活用した授業の割合の減少」についてですが、実績値としては年々増加の傾向にあります。ただし、目標数値と比較しますと、ここ数年は達成できていないのが現状です。 ご指摘のとおり、令和2年3月から5月での臨時休校期間中において、休校当初は活用できていない状況がありました。しかし、子どもたちの学びを止めないためにパソコン、タブレット、スマートフォンを用いて「オンライン学習」を実践しました。現在は、この実践を基礎として、これまで以上にICTを活用した教育活動を行っています。 ただし、ICT機器に強い(長けている)教員や、そうではない教員もおりますので、「本町に着任した教員向け」「ICTに強い教員向け」「全教職員向け」と目的別に対象を分け、年間を通してICTにかかる研修を実施しております。このことにより、少しずつではありますが、技術の伝承もスムーズになされてきているところです。 このように、本町では一堂に会すことなく、子どもたちが学んだり、教職員が研修を行ったりする仕組みが整いつつあります。今後、さらにICT機器を活用した「質の高い学び」について検討を重ねられるよう取り組んでおりますので、ご理解くださるようお願いいたします。	教育課

No.	施策分野	取組名称	資料種別	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
				5	(大項目 III) ・①都市基盤のKPIが松田駅・新松田駅の定期外乗車人数が微減しているが、駅は広域で利用するものであり原因を考察する上で松田町の事情を反映しない可能性がある。実際に新松田駅の整備計画の進捗状況を示すようなKPIが欲しいところだった。(議題2の2020改訂版でも都市基盤のKPIに新松田駅整備に関するKPIは入っていない。何か見える化できる指標は無いものか?)	ご指摘いただき、ありがとうございます。 新松田駅周辺整備の進捗状況を示すようなKPIの設定に関するご意見と考えますが、確かに、現在の指標は、広域的な要因が絡むものとなっておりますが、この総合戦略において設定するKPIにつきましては、極力、個別事業の評価ではなく、地方創生に繋げるための、より大きな目標指標としたいと考えております。 そのため、今後、各個別事業の進捗状況等を把握した上で、審議いただく必要が生じた際には、別途、個別事業の進捗状況評価を取りまとめます松田町総合計画審議会で使用している資料も併せて共有させていただきたいと考えております。	政策推進課 まちづくり課
				5	・2次評価案のKPI(数値目標)が「アンケート調査で『松田町は住みよい』と回答する町民の割合」とあるが、アンケートは毎年実施しているわけでない。評価しにくい気がする。(2020改訂版でのコメントでも再度触れる。)	ご提案ありがとうございます。 ご指摘のとおり、本数値目標については、毎年度評価することが困難な、中・長期的な目標値となっております。 町としましては、可能な限り、地方創生に繋がる数値目標をもって、毎年度の評価を実施していきたいと考えますので、さらに適した数値目標の設定や実施手法の検討なども行ってまいります。	政策推進課
				12	(大項目 IV) ・③観光の所で、「松田ブランド認定品の売上高」のR1年度はH30年度に比較して大幅に増加しているが、達成率は低い。目標が高すぎないのか? 目標値はどのようにして決めたのか? 今後期待が持てるということで良しとするか。	松田ブランドについては、ブランド品の認定品目数の増加や、オンラインをはじめとする効果的なPRを実施することで、売上増を目指しております。 今後は、コロナ禍によるニーズの変化も踏まえ、ECサイトの開設に取り組むなど、新たな販路も確立し、事業者と連携協力をしながら、認定後のブランド力の強化やイメージアップに努めていき売上増に繋げてまいります。	観光経済課

No.	施策分野	取組名称	資料種別	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
2	協議事項（1）	総合戦略評価	資料1-1	3	<p>II 若い世代が安心して、子どもを産み育てられる環境づくり</p> <p>2次評価（案）については、KPIの評価からすれば概ね順調に進んでいるということになると思うが、以下についてはきちんと説明あるいは施策として検討しておく必要があると考える。</p> <p>合計特殊出生率や子育て支援に関するKPIは目標値を達成しているとはいえ、実際には15～49歳女性人口が令和2年度に2000人を切っている（平成12年度比△33.1%減）。合計特殊出生率が回復傾向にあるとしても、子どもを産む世代の人口減少がこれほど大きいとなれば、子どもの人口減少に全く歯止めがかからないということになる。</p> <p>これは、子育て支援だけでは、若年女性の人口減少に一定の歯止めをかける効果が十分でないということではないのか。そうであるとすれば、松田町在住の若年女性にとって、子育て支援以外に何が必要なかを十分に検討することが喫緊の課題となるのではないのか。今後どのように対応するのか、もう少し中長期的な視点で検討する必要がある。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>ご指摘の通り、合計特殊出生率等に係る目標値は達成しているものの、総合戦略でも課題としている若年層の女性の転出超過傾向は、必ずしも改善されていない状況となっています。</p> <p>町ではこれまで、当該年齢層の方に対する様々な子育て支援等に取り組んでおり、一定の効果は発現していると考えている一方で、転出の理由をみると、進学や就職等により町を離れる傾向があることから、これらの解消に資するような転出抑制策、また、町外から当該年齢層を呼び込む施策を同時に展開する必要があると考えております。</p> <p>この喫緊の課題に対し、今後、さらに効果的な施策が展開できるよう、時間軸を短期・中長期の2点で捉えながら、打開策を導き出してまいります。</p>	定住少子化担当室 子育て健康課
3	協議事項（1）	総合戦略評価	資料1-1	10	<p>IV松田町の活力につながる産業・交流づくり</p> <p>2次評価（案）については、KPIの評価からすればやや遅れているということになると思うが、商工業販売・出荷額にせよ、観光入込客数にせよ、特に平成30年度以降の数値は目標値との乖離が大きすぎる。商業分野の減少傾向について、具体的に自治体としての対応で何が不足しているのかをもう一度検討しておく必要があるのではないのか。観光入込客数についても、天候不順などは当然起こりうることである。単発のイベント等だけでなく、天候に左右されない対応など、目標を達成するのに何をしなければいけないのかを再検討した方が良いのではないのか。</p> <p>②商工業</p> <p>起業そのものが、目標と比べて進んでいないようである。こちらでも、現在の対応で何が不十分なのかを十分に検討することが求められる。また、起業自体は比較的容易にできるとして、実際起業した企業のその後の動向はどうかもある程度把握しておく必要があるのではないのか。起業しても、きちんと継続できているのか、あるいは十分な収益を確保できているのか、そのためのバックアップとして具体的に何をしているのか、あるいは何が足りないのか、資料上での記載は不要かもしれないが、そのあたりも確認しておく必要があると考える。</p>	<p>【2次評価（案）】</p> <p>工業については、多少の波はあるものの、傾向として堅調に数値は伸びています。一方で、大型商業施設の充実やネット通販の台頭により、買い物環境が大きく変化している中で、物販（小売業）については数値が大きく悪化しており、目標値との乖離は、これまで商業振興の中心としている商工会を通じた個店支援の枠組みだけでは埋まらないと思われます。短期的には、コロナウイルス感染症による新しい生活様式への転換などを考慮した中で支援策を展開していますが、今後は土地利用など、まちづくりの視点も踏まえた長期的な商業振興策も推進すべきであると認識しています。</p> <p>また、観光入込客数につきましては、年間を通じた複数のイベント等による数値となっており、イベントの開催における天候不順の入込客による影響は、ある程度は避けられない面もありますが、コロナ禍によるニーズの変化を捉えた上で観光入込客を増加させていくために、大規模集客イベントだけでなく、小規模の体験型イベント（高付加価値）など誘客に繋げていく取組みも推進しております。今後も引き続き、新たな観光スタイルに即したイベントの開催方法を模索しながら、観光入込客に係る目標値が達成できるよう事業内容を検討していきたいと考えております。</p> <p>【②商工業】</p> <p>起業件数については商工会の支援実績をカウントしています。国の認定を受けた創業支援事業計画を基に、さがみ信用金庫を含めた3者で連携して起業・創業支援を実施していますが、大きな成果に結びついていない状況を分析します。</p> <p>また、起業後の状況把握を推進し、継続のための支援体制についても、関係機関と調整し対応を図ります。</p>	観光経済課

No.	施策分野	取組名称	資料種別	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
4	協議事項（1）	総合戦略評価	資料1-1	—	コロナ禍における戦略遂行に若干の遅れが見られるものの、概ね順調の項目もあるため、今後も基準達成に向け進んで頂ければと思います。	ご意見ありがとうございます。 町では、今後も、新型コロナウイルス感染症の影響を念頭に置きながら、地方創生に係る取組みを推進し、KPIの目標値達成を目指してまいります。	政策推進課
5	協議事項（2）	第2期松田町総合戦略の改訂	資料2-2	38	総合戦略ではないかもしれませんが、景気の悪化が続くことにより、失業や生活苦となった町民への心身のケアと支援も、臨時的な追加計画として盛り込んだ方が良いかと思えます。 総合戦略でなくても良いと思いますが、何らかの施策は必要と思えます。	ご提案ありがとうございます。 ご指摘にあるように、今後の地方創生の取組みについては、新型コロナウイルス感染症による影響に視点を置いた上で展開していくべきものと考えますので、総合戦略における「視点1」の文言を一部修正させていただきます。	政策推進課
6	協議事項（2）	第2期松田町総合戦略の改訂	資料2-2	48	P48の「県西地域活性化プロジェクト」に言及している部分について、「県西地域活性化プロジェクト」の説明部分について、次のような文案も考えられますので、ご提案します。 （原文）神奈川県や近隣市町と連携した中で、「新たな日常」をはじめとするキーワードにより県西地域活性化プロジェクトを展開し、 ↓ （修正案）神奈川県や近隣市町と連携した中で、「新たな日常」などをキーワードとして県西地域活性化プロジェクトを展開し、	ご提案ありがとうございます。 ご意見を踏まえ、文言を修正させていただきます。	政策推進課

No.	施策分野	取組名称	資料種別	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
7	協議事項（2）	第2期松田町総合戦略の改訂	資料2-2	47～49	<p>基本目標4 ③定住支援</p> <p>インターネットで検索すると、貴町では新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、ワーケーション環境整備などに取り組みされており、移住・定住施策の他、関係人口創出事業に取り組むとともに、閉校となった中学校の利活用等の業務を行っている、と出てくるが、昨年実際にどの程度の成果が出ているのかを考慮しておく必要があるのではないか。住民のニーズ、移住希望者のニーズをきちんと捉えて対応しなければ、成果が出ない可能性があり、支出は多く行ったものの、結果が出ないということでは税金の適切な使用において問題があると思われる。</p> <p>実際、令和2年は東京からの近隣市町村への転出が多かったというデータがある中で、正直なところ、転出が転入を上回っている月がほとんどである。この時期に転入が大きく増えなかったということは、松田町へ転入する（あるいは転入を検討している）人のニーズはテレワークへの対応ではない可能性が高い。現在の住民のためのテレワークへの対応はもちろん十分に行う必要があるが、これを定住支援としてここでどの程度提示するのかは再検討する必要があるのではないか。提示した以上は、KPIの項目にはないとしても、当然ある程度の成果を出さなければならない。</p>	<p>町では総合戦略において、人口減少の抑制と目標とする人口規模の確保を「目指すべき将来の方向」に据え、同戦略に位置付けた各種施策を展開しており、変化する社会情勢の中で、様々なニーズを捉えるべく、ワーケーションや関係人口創出事業などに取り組んでいます。</p> <p>関係人口事業でのアンケート結果によると、事業の満足度が高く再来訪をしたいという意見も頂戴しており、新たな町との接点を構築し、町のPRを行うことができたものと理解しています。</p> <p>これまで、町と関係性を有していなかった方に対し、町への理解度を深めて頂く機会を創出し、今後の移住等を検討するきっかけとなるような機運の醸成を主眼にした事業を展開しており、その成果が、すぐに町への移住・定住人口の増加に繋がるものではないと認識しておりますが、事業を継続することで町への移住希望者等の増加に繋げていきたいと考えております。</p> <p>サテライトオフィスについては、近年、民間企業においても、働きやすい労働環境の確保を目的として、働き方改革を推進する中、新型コロナウイルスの影響もあり、テレワークが急増しております。当町においても、令和2年度末には、寄地区の豊かな自然環境に位置するふれあい農園管理施設、やまびこ館について、サテライトオフィスとしての機能を整備することにより、当該施設の活用促進をはじめ、新たな仕事が創出されることなども期待するところです。</p> <p>また、コロナ禍において、首都圏からの移住者が、関東近郊に増加したという報道がなされている件についてですが、この間、町でも移住者の相談件数は、例年に比べ、増えておりました。</p> <p>しかしながら、希望する住居形態等が町内に少ないことなどもあり、移住希望者のニーズに応えきれていないことが課題となっています。この課題に対応するため、多様な住居形態の要望に応えられるよう、空家バンクの掲載物件の拡充に努めるとともに、町の各種移住施策をPRし、移住希望者の選択肢の1つに当町が選ばれるよう事業を展開してまいります。</p>	<p>定住少子化担当室</p> <p>観光経済課</p>
8	協議事項（2）	第2期松田町総合戦略の改訂	資料2-2	—	一読いたしました。特段問題なく、意見等はございません。	ご確認いただき、ありがとうございました。	政策推進課
				—	<p>・赤字で修正した内容は結構だと思います。</p>	ご確認、ご承認いただき、ありがとうございます。	政策推進課
				42 50 52	<p>・数値目標が、基本目標2、5、6ともアンケート調査で令和6年度の目標値が示されている。これは令和6年度にアンケート実施をするということか？</p> <p>これまでアンケート調査は総合計画立案時の前期と後期の初めに実施してきたが、総合計画後期が始まるのは令和5年(2023年)である。従って令和4年にアンケートを実施することになると思うが、この時の結果を令和6年度の目標にするということか？</p> <p>新聞やNHKなどのように、「内閣支持率」などのアンケート調査を年に何回も実施している。松田町も外部機関に依頼して、毎年町民(ランダム)に上記3項目を含んだ電話調査などをやるのも一つの方法かもしれない。</p>	<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、本数値目標については、毎年度評価することが困難な、中・長期的な目標値となっており、従来は総合計画の策定時等に実施してまいりました。</p> <p>この数値目標につきましては、可能な限り、地方創生に繋がる数値目標をもって、毎年度の評価を実施していきたいと考えますので、アンケート調査の実施手法等について、改めて検討してまいります。</p>	政策推進課

No.	施策分野	取組名称	資料種別	該当ページ	意見内容	町の考え方・対応方針等	担当課
9	協議事項（2）	第2期松田町総合戦略の改訂	資料2-2	47～48	・47ページの①都市基盤で、新松田駅整備に関してゴシックで書いてあるので強調していることは分かるが、KPIが「駅の定期外乗車人員数」となっている。これで都市基盤の評価ができるのか疑問である。（前回の審議会で通した内容なので今変更されないのかもしれないが、何か新松田駅周辺の整備の進捗がわかる指標が欲しいものだ。）	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>新松田駅周辺整備の進捗状況を示すようなKPIの設定に関するご意見と考えますが、この総合戦略において設定するKPIにつきましては、極力、個別事業の評価ではなく、地方創生に繋げるための、より大きな目標指標としたいと考えております。</p> <p>そのため、今後、各個別事業の進捗状況等を把握した上で、審議いただく必要が生じた際には、別途、個別事業の進捗状況評価を取りまとめます松田町総合計画審議会で使用している資料も併せて共有させていただきたいと考えております。</p>	政策推進課 まちづくり課
				53	<p>・54ページの町公式ホームページへのアクセス方法をKPIとしているが、このアクセス数はこれまでも減少してきている。これで良いのか？</p> <p>多くの町民は町の施策についてあまり知らない実態がある。町のHPを見る人も限られているし、広報紙も回覧板も見えない人が多い。携帯の松田町安心メールは登録した人はほとんど見ているので、これと同じような工夫をして町民への周知と町民からの意見の吸い上げの仕掛けを作してほしい。</p>	<p>ご提案ありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり近年、町ホームページへのアクセス数が減少しております。（資料1-1の9ページ参照）この状況を打開するため、町としましても、新鮮な情報をいち早く掲載するなど、工夫しているところではあります。改善に至っていない状況となっております。</p> <p>そのため、今後は、皆様により馴染みのある新たなSNSを活用したプッシュ型の情報発信の充実に取り組んでいくことで、行政と町民双方の意思疎通をさらに図り、町ホームページへのアクセスにも繋げてまいります。</p>	政策推進課
10	報告事項（2）	松田町人口推移	資料4	—	<p>（資料4の人口推移について）</p> <p>・平成31年(令和元年)は社会増減では転入が多かったが、令和2年は転出が転入を上回っている。特に令和2年3月が多い。よく内容を分析して社会増に再び持っていくような施策を取って欲しい。</p>	<p>町では、転出者に対しアンケート調査を実施しており、この中で、転出の理由等の設問を設定しています。</p> <p>令和2年3月分の転出者アンケート結果では、転勤・就職といった仕事都合による転居が多く、次に、就学等による理由が続いております。</p> <p>こういった状況について、内容（原因）をよく分析し、当町の特性を踏まえた上で、社会増につながる、より効果的な転出抑制策と転入促進策を並列的に実施してまいります。</p>	定住少子化担当室
11	その他	新型コロナウイルス総合対策	—	—	<p>コロナ禍による影響は多方面に渡ると思います。今後、ワクチン接種の実施に携わる町職員の方々も大変ですが、町民の生命のためにご尽力願います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。</p> <p>町では、今後も、全庁一丸となって、新型コロナウイルス感染症対策に取り組み、町民の皆様が安全・安心に暮らしていける環境整備に取り組めます。</p>	対策本部（全所属）